

PHILIPS

Brilliance

439P1



www.philips.com/welcome

JA ユーザーマニュアル	1
カスタマサポートと保証	27
トラブルシューティング & FAQ	30

目次

1. 重要	1
1.1 安全のための注意事項とメンテナ ンス	1
1.2 表記の説明	2
1.3 製品と梱包材料の廃棄	3
2. モニタをセットアップする	4
2.1 取り付け	4
2.2 モニタを操作する	8
2.3 VESA取り付け用にベースアセンブ リの取りはずし	11
2.4 MultiClient Integrated KVM	12
2.5 MultiView	14
3. 画像の最適化	16
3.1 SmartImage	16
3.2 SmartContrast	18
4. スマート電源	19
5. Adaptive Sync	20
6. HDR	21
7. 技術仕様	22
7.1 解像度とプリセットモード	25
8. 電源管理	26
9. カスタマサポートと保証	27
9.1 Philipsのフラットパネルモニタ 画素欠陥ポリシー	27
9.2 カスタマサポートと保証	29
10. トラブルシューティング & FAQ ...	30
10.1 トラブルシューティング	30
10.2 一般FAQ	31
10.3 Multiview FAQ	33

1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philips モニタを使用するユーザーを対象にしています。モニタを使用する前に、本ユーザーマニュアルをよくお読みください。モニタの操作に関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips 保証は、その操作指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠️ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電気事故、機械事故につながる可能性があります。

コンピュータモニタを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

取り扱い

- モニターを直射日光やきわめて明るい光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。これらの環境に長時間さらされると、モニタが変色したり損傷する結果を招きます。
- ディスプレイにオイルが付着しないようにしてください。オイルは、ディスプレイのプラスチック製カバーを損傷させる可能性があります。その場合、保証は無効になります。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、モニタの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- モニタの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでモニタの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- 必ず、本製品に同梱されている電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。

わせください。（重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。）

- 指定された電源で動作させてください。必ず指定の電源でモニターを操作してください。誤った電圧で使用すると故障の原因となり、火災や感電の原因となります。
- ケーブルを保護してください。電源ケーブルや信号ケーブルを引っ張ったり曲げたりしないでください。モニターやその他の重いものをケーブルの上に置かないでください。ケーブルが損傷した場合、火災や感電の原因となることがあります。
- 操作中、モニタに強い振動を与えたいため、衝撃を加えないでください。
- パネルがベゼルから外れるなどの損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。-5度下向き傾き最大角度を超えると、ディスプレイが損傷した場合、保証の対象外となります。
- 操作または輸送中、またLCDを強く打つたり落としたりしないでください。
- モニターの過度の使用は目の不快感を引き起こす可能性があります。ワークステーションにおいて、あまり頻繁ではない長い休憩よりも短い休憩をとることをお勧めします。例えば、50 ~ 60 分の連続画面使用後の 5 ~ 10 分の休憩は、2 時間ごとの 15 分間の休憩よりも効果が高い可能性があります。一定時間画面を使用している間、以下を行い、目の疲れから目を解放するようにしてください：
 - 長時間画面を注視した後は、さまざまな距離を見てみましょう。
 - 作業中に意識的に瞬きをしてみましょう。
 - ゆっくりと目を閉じ、目をキヨロキヨロさせて、目をリラックスさせてみましょう。
 - 画面をあなたの座高にあわせて、適切な高さと角度にしてみましょう。
 - 明るさとコントラストを適切なレベルに調整してみましょう。
 - 環境照明を画面の明るさに似た明るさに調整し、蛍光灯やあまり光を反射しない表面を避けましょう。
 - 症状がある場合は、かかりつけの医師に相談してみましょう。
- USB タイプ C ポートは、IEC 62368-1 または IEC 60950-1 に準拠する防火エンクロージャー付きの指定された機器にのみ接続することができます。

1. 重要

メンテナンス

- モニタを損傷の可能性から保護するためには、LCDパネルに過剰な圧力をかけないでください。モニタを動すときは、フレームをつかんで持ち上げてください。またLCDパネルに手や指を置いてモニタを持ち上げないでください。
- オイルを主成分とする清浄液は、プラスチック製カバーを損傷させる可能性があります。その場合、保証は無効になります。
- 長時間使用しない場合は、電源のプラグを抜いてください。
- 汚れのふき取りには、柔らかい布をご使用ください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してモニタを洗浄することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、モニタを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- モニタが濡れた場合は、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- モニタに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。異物や水を取り除き、カスタマサポートにご連絡ください。
- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でモニタを保管したり、使用したりしないでください。
- モニタの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る環境でモニタを使用してください。
 - 温度：0～40°C 32～104°F
 - 湿度：20～80% RH

焼き付き / ゴースト像に関する重要な情報

- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。静止コンテンツを表示している場合、定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。
- 「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」「後イメージ」「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

⚠ 警告

スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしない、

「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

修理

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- マニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。
(重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。)
- 輸送情報については、「技術仕様」を参照してください。
- 直射日光下の車内／トランクにモニタを放置しないでください。

● 注

モニタが正常に作動しない場合、または本書に記載された手順が分からぬ場合、カスタマケアセンターにお問い合わせください。

1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告

本書を通して、テキストのかたまりにはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのかたまりには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。

● 注

このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムを十分に活用できる助けとなるものです。

! 注意

このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法を教える情報を示します。

⚠ 警告

このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を教えてくれます。

1. 重要

警告には代わりの形式で表示されるものもあり、アイコンが付かない場合もあります。かかる場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器 -WEEE



This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new monitor contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the important of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

To learn more about our recycling program please visit:

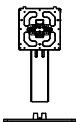
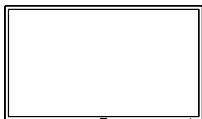
<http://www.philips.com/a-w/about/sustainability.html>

2. モニタをセットアップする

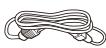
2. モニタをセットアップする

2.1 取り付け

1 パッケージに含まれるもの



Screw M4
x 4



Power



* HDMI



*DP



*USB C-C



*USB C-C/A



*RS232

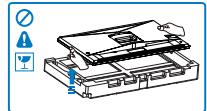
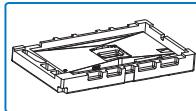
* プログラムによって異なります。

注

販売する国・地域により付属されるケーブルが異なることがあります。ケーブル付属は別紙のケーブル付属リストをご参照ください。

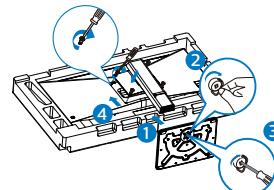
2 ベースの取り付け

- このモニタを十分に保護し、モニタの傷や損傷を避けるため、モニタを下向きにしてベース取り付け用のクッションに入れてください。

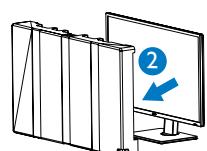
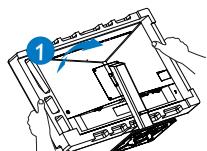


2. 両手でスタンドを持ちます。

- ベースをスタンドにそっと取り付けます。
- 指を使ってベースの底部にあるネジを締めます。
- ドライバを使用して、ベースの底部にあるネジを締め、ベースを支柱にしっかりと固定します。
- VESA マウント部の掛け金がロックされるまでゆっくりとスタンドを取り付けます。

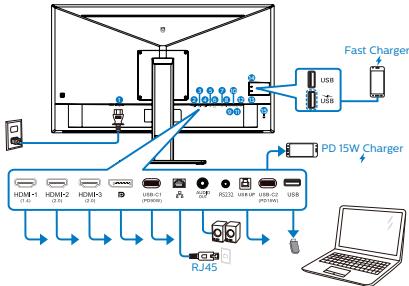


- ベースを取り付けたら、両手でモニターと発泡スチロールと一緒にしっかりと保持して立てます。発泡スチロールを引き出してください。発泡スチロールを引き出すときは、パネルの破損を避けるため、パネルを絞らないでください。

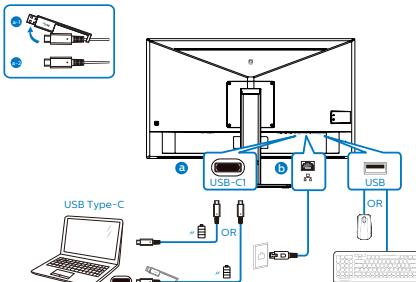


2. モニタをセットアップする

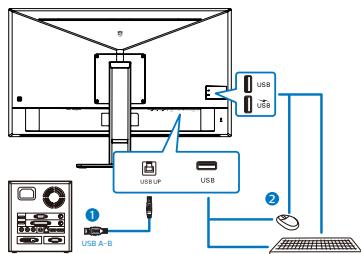
3 PCに接続する



USB docking (USB C-C)



USB hub



- ① AC電源入力
- ② HDMI-1 入力
- ③ HDMI-2 入力
- ④ HDMI-3 入力
- ⑤ DisplayPort入力
- ⑥ USB-C1
- ⑦ RJ45
- ⑧ オーディオ出力
- ⑨ RS232
- ⑩ USB UP

⑪ USB-C2

⑫ USB ダウンストリーム

⑬ USB ダウンストリーム/USB高速充電器

⑭ USB ダウンストリーム

⑮ Kensingtonロック

PCに接続する

1. 電源コードをモニタ背面にしっかりと接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. モニタに信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。

	ソース	USB アップストリーム
a	USB C	USB C
b	HDMI/DP	USB UP (USB-B)
	DP/HDMI	USB C

a. 信号ケーブルがUSB-Cである場合、USB-Cアップストリームケーブルをデバイスから、このモニターの「USBタイプC」ポートに接続できます。キーボードやマウスをこのモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。

b. 信号ケーブルがHDMIまたはDisplayPortである場合、USB-C-AまたはUSB-B-Aアップストリームケーブルをデバイスから、このモニターの「USBタイプC」または「USB UP」ポートに接続できます。キーボードやマウスをこのモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。

c. デュアルレディバイスの信号ケーブルとUSBアップストリームケーブルをこのモニターの「USBタイプC」ポートと「USB UP」ポートに接続します。キーボードやマウスをこのモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。そうすると、KVMの機能が利用できるようになります。詳細については、「MultiClient Integrated KVM」のセッションを参照してください。

2. モニタをセットアップする

4. コンピュータとモニタの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとモニタの電源をオンにします。モニタに画像が表示されたら、は完了です。

注

マウスやキーボードが正常に動作しない場合は、以下の KVM の検出を微調整する方法を参照してください。

- ・ フロントベゼルの ボタンを押して、OSD メニュー画面を表示させます。
- ・ または ボタンを押して、[USB Settings(USB 設定)] を選択してから、[OK] ボタンを押します。
- ・ または ボタンを押して、[KVM] を選択してから、[OK] ボタンを押します。
- ・ または ボタンを押して、[Auto(自動)] を選択してから、[OK] ボタンを押して、選択を押して、選択を確認します。KVM の機能が利用できるようになりました。

- ④ RJ45 用 USB ドライバのインストール
USB ドッキングディスプレイを接続する前に、必ず、USB ドライバをインストールしてください。

Philips の Web サイトのサポートページにアクセスして、「LAN ドライバー」をダウンロードできます。

インストール手順に従ってください：

1. お使いのシステムに適合する LAN ドライバをインストールしてください。
2. インストールするドライバを再度確認し、Windows の指示に従い、インストールを進めてください。
3. インストールに成功すると「成功」と表示されます。
4. インストールを完了後、コンピュータを再起動してください。
5. プログラムインストール済みリストに「Realtek USB イーサネットネットワークアダプタ」が表示されるようになりました。
6. 最新的の更新されたドライバが利用可能であることを確認するため、上記の Web リンクを定期的に確認することをお勧めします。

注

必要に応じて、MAC アドレス複製ツールについては、Philips のサービスホットラインにお問い合わせください。

2. モニタをセットアップする

5 USB ハブ

国際的なエネルギー標準に準拠するため
に、このディスプレイのUSBハブ／ポートはスタンバイモードとオフモードの間、
無効になります。

この状態のとき、接続されている USB デバイスは動作しません。

USB 機能をずっと「オン」の状態にするには、OSD メニューに移動し、「USB 待機モード」を選択し、これを「オン」状態に切り替えます。モニターを工場出荷時設定にリセットする場合は、必ず、OSD メニューで、「USB スタンバイモード」を「オン」に選択してください。

6 充電用 USB

このディスプレイにはUSBポートがあり、USB充電など、標準的な電力を出力できます(パワーアイコン^{USB}で識別可能)。そのポートからスマートフォンを充電したり、外付けHDDに電力を供給したりできます。この機能を利用するには、ディスプレイの電源を常に入れておく必要があります。

一部の Philips ディスプレイでは、“スリープ”/モードモードに入ると、デバイスの給電・充電が停止することがあります(白のパワー LED が点滅します)。その場合、OSD メニューに入り、“USB Standby Mode”を選択し、“オン”に切り替えてください(初期設定はオフです)。これで、モニターがスリープ/モードモードに入っても、USB 給電・充電機能が維持されます。

注

電源スイッチでモニターの電源を切った場合、すべての USB ポートがオフになります。

警告

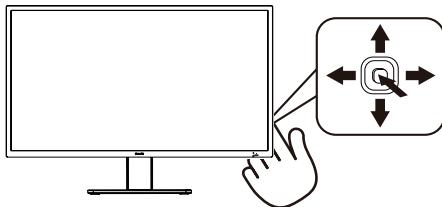
無線式のマウス、キーボード、ヘッドホンなど、USB 2.4Ghz デバイスは USB 3.2 デバイスの高速信号により干渉を受け、その結果、無線送信の効率性が低下する可能性があります。その場合、次の方法で干渉を抑えてください。

- USB2.0 レシーバーを USB3.2 接続ポートから離す。
 - 標準の USB 拡張ケーブルまたは USB ハブを利用し、無線レシーバーと USB3.2 接続ポートの間の距離を増やす。

2. モニタをセットアップする

2.2 モニタを操作する

1 コントロールボタンの説明



①		3秒以上押すとディスプレイの電源のオンとオフが切り替わります。
②		OSDメニューにアクセスします。または現在の機能を選択します。
③		ユーザーのお気に入りキー。OSDから自分専用のお気に入りの機能をカスタマイズして、「ユーザーキー」にします。 OSDメニューを調整します。
④		信号入力ソースを変更します。 OSDメニューを調整します。
⑤		SmartImage ホットキー。次の9つのタイプから選択します：EasyRead、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、LowBlue Mode (LowBlue モード)、SmartUniformity(スマートユニフォーミティ)、Off(オフ)。 前の OSD レベルに戻ります。

2 オンスクリーンディスプレイの説明

オンスクリーンディスプレイ (OSD) とは
オンスクリーンディスプレイ (OSD) はすべての Philips LCD モニタに装備されています。これにより、ユーザーはオンスクリーンの指示ウィンドウを通して直接画面パフォーマンスを調整したりモニタの機能を選択したりできます。オンスクリーンディスプレイインターフェースは、以下のように表示されます。

LowBlue Mode	On	
Input	Off	<input checked="" type="checkbox"/>
Picture		
PIP/PBP		
Audio		
Color		
▼		

コントロールキーの基本操作

Philips ディスプレイの OSD メニューにアクセスするには、ディスプレイベゼルの底面にあるシングルトグルボタンを使用するだけです。シングルボタンはジョイスティックのように操作します。カーソルを移動するには、ボタンを四方向に動かすだけです。ボタンを押して、希望のオプションを選択します。

2. モニタをセットアップする

OSDメニュー

以下は、オンスクリーンディスプレイのメニュー一覧です。後でさまざまな調整を行いたいときに、こちらを参照してください。

Main menu	Sub menu
LowBlue Mode	On Off — 1, 2, 3, 4
Input	1 HDMI 1.4 2 HDMI 2.0 3 HDMI 2.0 DisplayPort USB CI Auto — On, Off
Picture	SmartImage SmartImage HDR Adaptive Sync Picture Format Brightness Contrast Sharpness SmartResponse SmartContrast Gamma Pixel Orbiting Over Scan — EasyRead, Office, Photo, Movie, Game, Economy, LowBlue Mode, SmartUniformity, Off — HDR Game, HDR Movie, HDR Photo, DisplayHDR 400, Personal, Off — On, Off — Wide Screen, 4:3, 1:1 — 0~100 — 0~100 — 0~100 — Off, Fast, Faster, Fastest — On, Off — 1.8, 2.0, 2.2, 2.4, 2.6 — On, Off — On, Off
PIP/PBP	PIP/PBP Mode Sub Win1 Input Sub Win2 Input Sub Win3 Input PIP Size PIP Position Swap — Off, PIP, PBP 2Win, PBP 4Win — 1 HDMI 1.4, 2 HDMI 2.0, 3 HDMI 2.0, DisplayPort, USB CI — 1 HDMI 1.4, 2 HDMI 2.0, 3 HDMI 2.0, DisplayPort, USB CI — 1 HDMI 1.4, 2 HDMI 2.0, 3 HDMI 2.0, DisplayPort, USB CI — Small, Middle, Large — Top-Right, Top-Left, Bottom-Right, Bottom-Left
Audio	Volume Mute Audio Source Audio Recover — 0~100 — On, Off — HDMI1, HDMI2, HDMI3, DisplayPort, USB CI — On, Off
Color	Color Temperature sRGB User Define — Native, 5000K, 6500K, 7500K, 8200K, 9300K, 11500K — Red: 0~100 — Green: 0~100 — Blue: 0~100
Language	— English, Deutsch, Español, Český, Français, Italiano, Magyar, Nederlands, Português, Português do Brasil, Polski, Русский, Svenska, Suomi, Türkçe, Čeština, Ελληνικά, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어
OSD Setting	Transparency OSD Time out User Key — Off, 1, 2, 3, 4 — 5s, 10s, 20s, 30s, 60s — Volume — Brightness — KVM
USB Setting	USB USB Standby Mode KVM — USB 3.2, USB 2.0 — On, Off — Auto, USB CI, USB up
Setup	Power LED Resolution Notification RS232 Smart Power Reset Information — 0, 1, 2, 3, 4 — On, Off — On, Off — On, Off — Yes, No

2. モニタをセットアップする

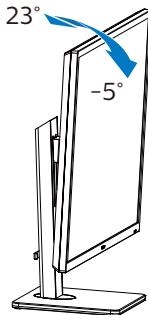
3 解像度アラート

このモニタは、そのネーティブ解像度 3840 × 2160 で最適なパフォーマンスを発揮するように設計されています。モニタが異なる解像度で作動しているとき、画面にアラートが表示されます。3840 × 2160@ での使用が、最適な結果が得られます。

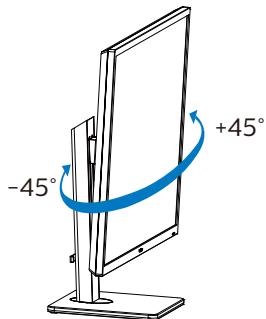
解像度アラートの表示は、OSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューの Setup(セットアップ)からオフに切り替えることができます。

4 物理的機能

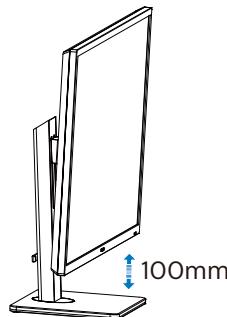
チルト



スイベル



高さ調節



⚠️ 警告

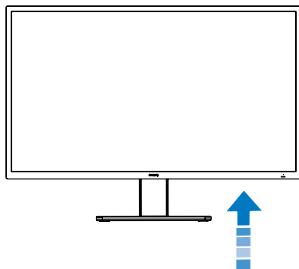
- ・ パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。
- ・ ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。ベゼルのみを持つようにしてください。

2. モニタをセットアップする

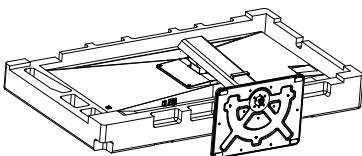
2.3 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし

破損や負傷を防ぐため、モニタベースの取り外しを始める前に下記の指示に従ってください。

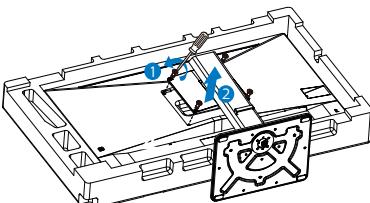
- モニタベースを最大高さまで伸ばします。



- ディスプレイを画面を下にして平らな場所に置きます。このとき、画面にひつかき傷が付いたり損傷しないように、柔らかい布などを敷いてください。

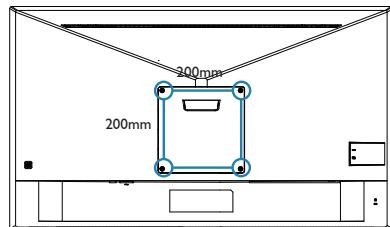


- 固定ネジを緩め、ディスプレイからネックを取り外します。



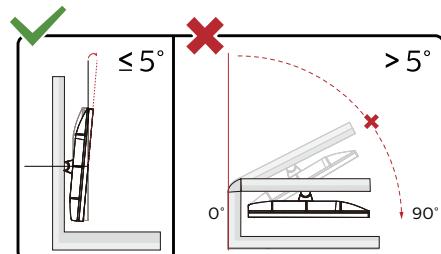
注

このモニタは 200mm x 200mm VESA 準拠の取り付けインターフェースを受け入れます。VESA取り付け用ネジ M4。壁取り付け設置については、必ず製造元に問い合わせてください。



注

適切な壁マウントを購入してください：そうしないと、背面プラグインケーブルと壁の間の距離が、短くなりすぎることがあります。



* ディスプレイのデザインは、これらの図とは異なる場合があります。

警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。ベゼルのみを持つようにしてください。
- ウォールハンガーを使用する場合、ウォールハンガーの範囲がリアシェルウォールハンガースロットを超える場合は、適切な支柱を使用して、鉄製ウォールハンガーとリアシェルウォールハンガー穴の間の隙間を埋めることをお勧めします。

2. モニタをセットアップする

2.4 MultiClient Integrated KVM

1 MultiClient Integrated KVMとは？

MultiClient Integrated KVMスイッチを使用すると、1台のモニタでキーボード・マウスを2つ設定してPCを制御できます。便利なボタンにより、ソース間をすばやく切り替えることができます。

2 MultiClient Integrated KVMを有効にする方法

内蔵の MultiClient Integrated KVM を使用することで、OSD メニューの設定により、2つのデバイス間で周辺機器をすばやく切り替えることができます。

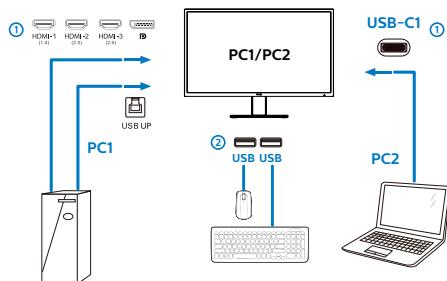
USB-C および HDMI または DP を入力として使用し、USB-C/USB-B を USB アップストリームとして使用します。

設定については、次の手順に従ってください。

- デュアルデバイスのUSBアップストリームケーブルをこのモニタの「USB C1」ポートと「USB up」ポートに同時に接続します。

ソース	USB ハブ
HDMI/DP	USB UP
USB C	USB C

2. 周辺機器をこのモニタのUSBダウンストリームポートに接続します。



3. OSDメニューを開きます。KVM layer(KVM レイヤー)に進み、「自動」「USB-CI」または「USB up」を選択して、周辺機器の制御をあるデバイスから別のデバイスに切り替えます。1セットの周辺機器を使用して制御システムを切り替えるために、このステップを繰り返します。

DP および HDMI を入力として使用し、USB-B/USB-C を USB アップストリームとして使用します。

設定については、次の手順に従ってください。

- デュアルデバイスのUSBアップストリームケーブルをこのモニタの「USB CI」ポートと「USB up」ポートに同時に接続します。

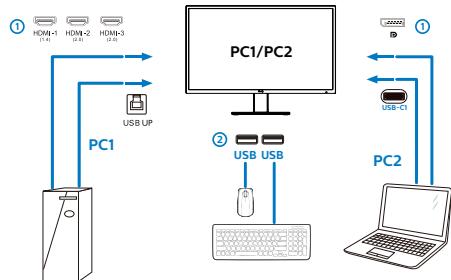
PC1：USB UP をアップストリームとして、動画および音声の転送用に HDMI または DP ケーブルを使用します。

PC2：USB-Cをアップストリーム（USB C-A）として、DPまたはHDMIケーブルを動画および音声の転送用に使用します。

ソース	USB ハブ
HDMI or DP	USB UP
DP or HDMI	USB C

2. モニタをセットアップする

2. 周辺機器をこのモニタのUSBダウンストリームポートに接続します。



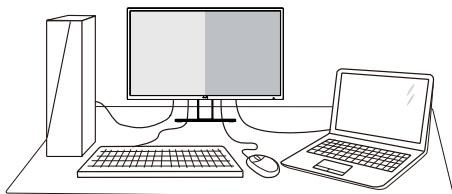
3. OSDメニューを開きます。KVM layer(KVM レイヤー)に進み、「自動」「USB-C1」または「USB up」を選択して、周辺機器の制御をあるデバイスから別のデバイスに切り替えます。1セットの周辺機器を使用して制御システムを切り替えるために、このステップを繰り返します。

注

また、PBPモードで「MultiClient Integrated KVM」を採用することもできます。PBPを有効にすると、このモニタに同時に2つの異なるソースが投影されます。「MultiClient Integrated KVM」は、1セットの周辺機器を使用して、2つのシステム間をOSDメニュー設定で制御することにより、操作性を向上させます。上記の手順3に従ってください。

2. モニタをセットアップする

2.5 MultiView



1 MultiViewとは?

Multiviewにより、アクティブな様々な種類の接続が可能になり、デスクトップPCやノートPCのような複数のデバイスを同時に並べて使用できるようになります。複雑なマルチタスク作業がやりやすくなります。

2 必要な理由は?

超高解像度 Philips MultiView ディスプレイでは、職場でも家庭でも便利な接続性を享受できます。このディスプレイを使用することで、1つの画面で複数のコンテンツソースを簡単にお楽しみになれます。例：小さなウインドウでオーディオをオンにしたままライブニュースビデオを見ながら、最新のブログに取り組んだり、ワルトラップからExcel ファイルを編集しながら、会社のインターネットにログインしてデスクトップからファイルにアクセスしたりする事が可能になります。

3 OSDメニューで MultiViewを有効にするにはどうすればいいのですか？

LowBlue Mode	PIP / PBP Mode	Off
Input	Sub Win1 Input	PIP
Picture	Sub Win2 Input	PBP 2Win
PIP/PBP	Sub Win3 Input	PBP 4Win
Audio	PIP Size	
Color	PIP Position	
	Swap	

1. OSDメニュー画面に入るには、右に動かします。
2. 上または下に動かして、メインメニュー [PIP / PBP]を選択し、次に右に動かして確定します。
3. 上または下に動かして、[PIP / PBP Mode] (PIP / PBPモード)を選択し、次に右に

動かします。

4. 上または下に動かして、[PIP]、[PBP]を選択し、次に右に動かします。
5. これで逆行し、[PIP/PBP 入力]、[PIP サイズ]、[PIP 位置]、[スワップ]を設定できます。
6. 右に動かして選択を確定します。

4 OSDメニューのMultiView

- PIP / PBP モード: MultiView の 4 つのモード: [オフ]、[PIP]、[PBP 2Win]、[PBP 4Win]。

[PIP] : ピクチャインピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを並べて開きます。

A (main)
B

サブソースが検出されない場合 :

A (main)

[PBP] : ピクチャバイピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを並べて開きます。

A (main) B

サブソースが検出されない場合。

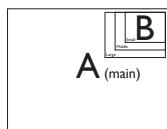
A (main)

● 注

PBPモードに入っているとき、画面の上下に黒いストライプが表示されると正しい縦横比になっています。

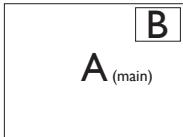
2. モニタをセットアップする

PIP Size(PIP サイズ) : PIPがアクティブになっているとき、次の3つのサブウインドウサイズを選択できます。[Small](小)、[Middle](中)、[Large](大)。

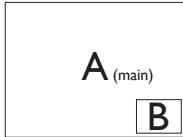


- PIP Position (PIP 位置) :** PIPがアクティブになっているとき、次の4つのサブウインドウ位置を選択できます。

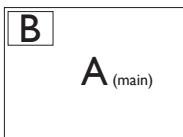
右上



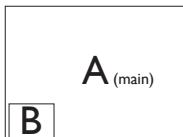
右下



左上

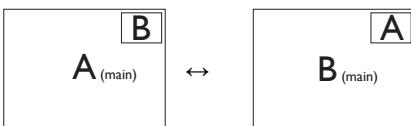


左下

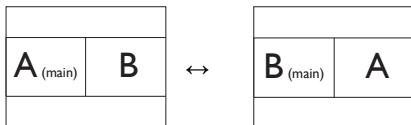


- Swap(スワップ) :** ディスプレイでスワップされたメインピクチャソースとサブピクチャソース。

[PIP]モードのAとBソースのスワップ：



[PBP]モードのAとBソースのスワップ：



- Off(オフ) :** MultiView 機能を停止します。

MultiView	Inputs	SUB SOURCE POSSIBILITY (x1)				
		HDMI-1	HDMI-2	HDMI-3	DisplayPort	USB C1
MAIN SOURCE (x1)	HDMI-1	●	●	●	●	●
	HDMI-2	●	●	●	●	●
	HDMI-3	●	●	●	●	●
	DisplayPort	●	●	●	●	●
	USB C1	●	●	●	●	●

注

スワップ機能を使用すると、ビデオとそのオーディオソースが同時に切り替わりますが。

3. 画像の最適化

3.1 SmartImage

1 これは何ですか？

SmartImage はさまざまな種類のコンテンツ用のディスプレイを最適化するようにプリセットされて、輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整します。テキストアプリケーションで作業しているか、画像を表示しているか、ビデオを見ているかに関わらず、Philips SmartImage は最適化された最高のモニタパフォーマンスを発揮します。

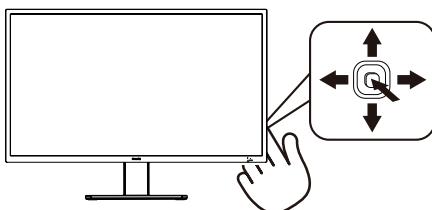
2 必要な理由は？

あなたはお気に入りのタイプのコンテンツをすべて最適化された状態で表示するモニタを必要としています。SmartImage ソフトウェアは輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整し、あなたのモニタの鑑賞体験を向上します。

3 これは、どのように作動するのですか？

SmartImage は画面に表示されたコンテンツを分析する Philips 独自の最先端技術です。選択したシナリオに基づき、SmartImage は画像のコントラスト、彩度、シャープネスをダイナミックに強化して表示されるコンテンツを強化します。すべては1つのボタンを押すだけでリアルタイムで行われます。

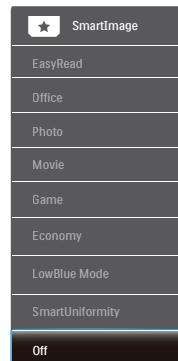
4 SmartImage はどのようにして有効にするのですか？



1. 画面ディスプレイで SmartImage を起動

するには左に切り替えます。

2. EasyRead、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、LowBlue Mode(LowBlue モード)、SmartUniformity(スマートユニフォーミティ) および Off(オフ) のいずれかを選択するには上下に切り替えます。
3. 画面ディスプレイの SmartImage は5秒間画面に留まります。あるいは左に切り替え、確定できます。
4. 次の9つのモードを選択できます：EasyRead、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、LowBlue Mode(LowBlue モード)、SmartUniformity(スマートユニフォーミティ) および Off(オフ)。



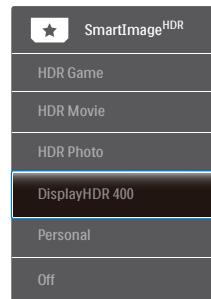
- **EasyRead**：PDF電子書籍のようなテキストベースのアプリケーションの読み取りの向上に役立ちます。テキストコンテンツのコントラストと境界のシャープネスを上げる特殊なアルゴリズムを使用することで、モニタの輝度、コントラスト、色温度が調整され、ディスプレイはストレスなしに読み取ることができるよう最適化されます。
- **Office(オフィス)**：テキストを強化して輝度を抑えることで読みやすさを向上し、目の疲れを和らげます。スプレッドシート、PDFファイル、スキャンされた記事、その他の一般的なオフィスアプリケーションで作業しているとき、このモードは読みやすさと生産性を大幅に向上します。
- **Photo(写真)**：このプロファイルは彩度、ダイナミックコントラスト、シャープネス

3. 画像の最適化

- 強化を組み合わせて、写真やその他の画像を躍動感にあふれる色でくっきりと表示します。アーティファクトが生じたり色がぼやけることはありません。
- Movie(動画)：輝度を上げ、彩度、ダイナミックコントラスト、レーザーシャープネスを深め、ビデオの暗い領域を細部まで表示します。明るい領域の色落ちはなく、ダイナミックな自然値を維持して究極のビデオ表示を実現します。
- Game(ゲーム)：駆動回路上でオンになると画面で動く物体の応答時間が速くなり、ぎざぎざの縁が減少して、明るいスキームや暗いスキームのコントラスト比が向上します。このプロファイルはゲームに最高のゲーム体験を提供します。
- Economy(エコノミー)：このプロファイルの下で、輝度、コントラストが調整され、毎日のオフィスアプリケーションを適切に展示するためにバックライトを微調整して、消費電力を下げます。
- LowBlue Mode (LowBlue モード)：目に易しい生産性に対する LowBlue モード研究は、紫外線には目の損傷を引き起こす可能性があること、LED ディスプレイから放射される短波長の青色光線には、目の損傷の原因となり、時間をかけて視力に影響を与える可能性があることを示しています。幸福のために開発された Philips LowBlue モード設定は、有害な短波青色光を低減するためにスマートなソフトウェア技術を使用しています。
- SmartUniformity (スマートユニフォミニティ)：画面の異なる部分で、輝度および色が変動するのは、LCD ディスプレイでは一般的な現象です。一般的な均一性は約 75 ~ 80% と測定されます。Philips SmartUniformity 機能を有効にすると、ディスプレイの均一性は 95% 以上に向上します。これによって、生成された画像の一貫性と忠実性が向上します。
- Off(オフ)：SmartImage で最適化はされません。

ディスプレイが、接続されたデバイスから HDR 信号を受信したら、ニーズに最もふさわしい画像モードを選択してください。

複数の選択があります。HDR ゲーム、HDR ムービー、HDR フォト、DisplayHDR 400、個人、オフ。



- HDR ゲーム：ビデオゲームのプレイを最適化するための理想的な設定です。白がより明るくなり、黒がより暗くなるので、ゲーミングシーンが鮮やかになり、細部まで見やすくなり、暗いコーナーや影に隠れた敵を容易に発見できます。
- HDR ムービー：HDR ムービーの視聴に理想的な設定です。より現実的で没頭できる視聴体験を実現するために、より良いコントラストと輝度を提供します。
- HDR フォト：実物そっくりに表示できるよう、赤色、緑色、青色を強化します。
- DisplayHDR 400：VESA DisplayHDR 400 規格を満たします。
- 個人：画像メニューで利用可能な設定をカスタマイズします。
- オフ：SmartImage HDR による最適化を行いません。

注

[HDR機能をオフに切り替える場合は、入力デバイスとそのコンテンツを無効にしてください。](#)

[入力デバイスとモニターの間のHDR設定が異なると、十分な画像が得られない場合があります。](#)

3.2 SmartContrast

1 これは何ですか？

表示されたコンテンツをダイナミックに分析したり、モニタのコントラスト比を自動的に最適化して映像の明瞭さを最大限に高めたり、バックライトを強化することでクリアで、くっきりした、明るい画像を実現したり、バックライトを薄暗くすることで暗い背景で画像をクリアに表示したりする独特な技術です。

2 必要な理由は？

あなたはどのような種類のコンテンツに対しても、きわめて明瞭な映像が表示され快適な状態で鑑賞できることを求めていません。SmartContrastはコントラストをダイナミックに制御しバックライトを調整してクリアで、くっきりした、明るいゲームとビデオ画像を実現したり、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。モニタの消費電力を抑えることで、エネルギーコストを節約し、モニタの寿命を延ばすことができます。

3 これは、どのように作動するのですか？

SmartContrastをアクティブにするとき、表示しているコンテンツをリアルタイムで分析して色を調整しバックライト強度を制御します。この機能はビデオを表示したりゲームをプレーしているとき、コントラストをダイナミックに強化して素晴らしいエンタテインメント体験を体験できるようにします。

4. スマート電源

このモニターから、互換性のあるデバイスに最大90Wの電力を供給することができます。

1 スマート電源とは？

スマート電源とは、さまざまなデバイスに対して、柔軟な電源供給オプションを提供するPhilips独自の技術です。1本のケーブルのみで、高性能ノートパソコンを再充電できるため有用です。

モニターは、スマート電源を使用して、USB-C1ポートを通し、USBを経由して、最大90Wの電力を供給することができます（標準は65Wです）。

デバイスの損傷を防止するため、スマート電源は、電流の引き込みを制限する保護を有効にします。

2 スマート電源を有効にする方法は?

1. OSDメニュー画面に入るには、右に動かします。
 2. 上または下に動かして、メインメニュー [設定]を選択し、次に右に動かして確定します。
 3. 上または下ボタンを押して、[スマート電源]を有効または無効にします。

3 USB-C1ポートを経由する電源供給

1. デバイスをUSB-C1ポートに接続します。
 2. [スマート電源]を有効にします。
 3. [スマート電源]が有効であり、USB-C1
が電源供給用に使用されている場合、最
大電源供給はモニターの輝度値により
異なります。このモニターからの電源供

給を増やす場合は、モニターの輝度値を手動で調整することができます。

3つの電源供給レベルがあります。

	輝度値	USB-C1 からの電源供給
レベル1	0 ~ 20	90W
レベル2	21 ~ 60	85W
レベル3	61 ~ 100	80W

注

- [スマート電源]が有効であるとき、DFP (Downstream Facing Port) が15W以上の電力を使用している場合、USB-C1は最大5Wの電力を供給することができます。
 - [スマート電源]が無効であり、DC出力が接続されていない場合、USB-C1は最大65Wの電力を供給することができます。

5. Adaptive Sync



Adaptive Sync

PCゲームは長い間不完全な状態でした。GPUとモニターの更新レートが異なるためです。GPUがモニターの1回の更新中に新しいピクチャをたくさんレンダリングできるとき、モニターは各ピクチャの断片を1つのイメージとして表示することができます。これが「テアリング」です。ゲーマーは「v-sync」と呼ばれている機能でテアリングを修正できますが、イメージがちぐはぐになることがあります。GPUは、新しいピクチャを届ける前に、モニターが更新を要求するのを待つからです。

v-syncを利用すると、マウス入力の反応や毎秒の全体フレーム数も下がります。AMD Adaptive Syncテクノロジはこういった問題をすべて解決します。GPUは新しいピクチャが用意できた瞬間にモニターを更新します。信じられないくらい滑らかで、反応性の良い、テアリングのないゲームを楽しめます。

互換性のあるグラフィックスカードでフォロー。

- オペレーティングシステム
 - Windows 10/8.1/8/7
- グラフィックカード:R9 290/300-serie & R7 260シリーズ
 - AMD Radeon R9 300 シリーズ
 - AMD Radeon R9 Fury X
 - AMD Radeon R9 360
 - AMD Radeon R7 360
 - AMD Radeon R9 295X2
 - AMD Radeon R9 290X
 - AMD Radeon R9 290
 - AMD Radeon R9 285
 - AMD Radeon R7 260X
 - AMD Radeon R7 260
- プロセッサーAシリーズデスクトップとモビリティAPU
 - AMD A10-7890K
 - AMD A10-7870K

- AMD A10-7850K
- AMD A10-7800
- AMD A10-7700K
- AMD A8-7670K
- AMD A8-7650K
- AMD A8-7600
- AMD A6-7400K

6. HDR

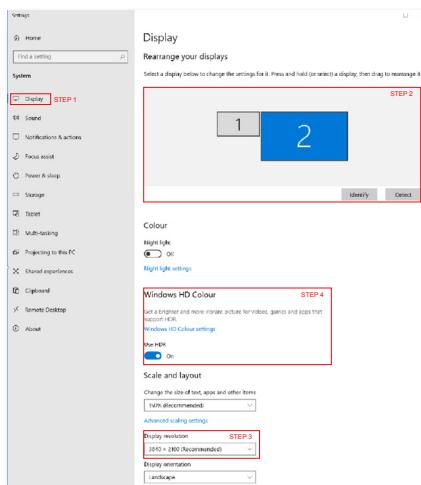
Windows10 における HDR 設定手順

- デスクトップを右クリックして、ディスプレイ設定に入ります
- ディスプレイ / モニターを選択します
- [ディスプレイの再配置] で HDR 対応のディスプレイを選択します。
- Windows HD の色設定を選択します。
- SDR コンテンツの輝度を調整します

注:

Windows10 エディションが必要です。常に最新の更新バージョンにアップグレードしてください。

以下は、Microsoft 公式 Web サイトからの詳細情報に関するリンクです。
<https://support.microsoft.com/en-au/help/4040263/windows-10-hdr-advanced-color-settings>



Windows HD Colour settings

Stream HDR video	Yes
Use HDR	Yes
Use WCG apps	Yes

Use HDR

On

Stream HDR Video

On

This display can play streaming HDR video when available. For best results, play HDR videos full screen.

[Learn more](#)

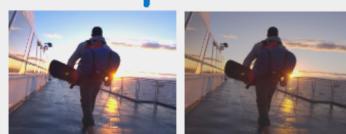
The preview video below shows you what video will look like with your current video settings. Move this window to the display you're adjusting to get an accurate preview.



HDR/SDR brightness balance

STEP 5

Move this window to the display that you're adjusting. Then adjust the brightness balance between the two images.



On external HDR displays, this setting affects the brightness of standard dynamic range (SDR) content relative to high dynamic range (HDR) content.

注

HDR 機能をオフに切り替える場合は、入力デバイスとそのコンテンツを無効にしてください。

入力デバイスとモニターの間の HDR 設定が異なると、十分な画像が得られない場合があります。

7. 技術仕様

画像 / ディスプレイ	
モニタパネルの種類	VA テクノロジー
バックライト	W-LED システム
パネルサイズ	42.51" 幅 (108 cm)
縦横比	16:9
画素ピッチ	0.2451 x 0.2451 mm
コントラスト比 (標準)	4000:1
最適解像度	3840 x 2160 @ 60Hz
表示角度 (標準)	178° (H) / 178° (V) @ C/R > 10
画像強調	SmartImage, SmartImage HDR
表示色	1.07 B (8 ビット +FRC)
フリッカーフリー	あり
垂直リフレッシュレート	48Hz - 60Hz
水平周波数	30kHz - 140kHz
sRGB	あり
LowBlue Mode (LowBlue モード)	あり
Adaptive Sync	あり
HDR	VESA 認定 DisplayHDR™ 400
EasyRead	あり
入出力	
コネクター	1x HDMI 1.4 (HDCP 1.4) 2 x HDMI 2.0 (HDCP 1.4, HDCP 2.2) 1x DisplayPort 1.4 (HDCP 1.4, HDCP 2.2) 1x USB-C1 (upstream, HDCP 1.4, HDCP 2.2) 1x USB-C2 (downstream) 1x RJ-45、イーサネット LAN (10M/100M/1000M) 3x USB-A (1つは高速充電BC 1.2対応ダウントリームに対応) (5V/3A) 1x 音声出力 1x RS232
信号入力ソース	HDMI、DisplayPort、USB-C1 (DisplayPort Altモード)
USB SuperSpeed	USB 3.2 Gen1 (5 Gbps)
USB-C	USB-C1 (アップストリーム、DisplayPort Altモード、HDCP 2.2、PD 90W) USB-C2 (ダウントリーム、PD 15W)
電源供給	最大90W • USB-C1: USB PD/バージョン3.0、最大90W (5V/3A、7V/3A、9V/3A、10V/3A、12V/3A、15V/3A、20V/4.5A) • USB-C2: USB PD/バージョン3.0、15W (5V/3A) • USB-A(サイドx1、BC 1.2): 7.5W (5V/1.5A)
入力信号	分離同期

7. 技術仕様

ユーザーインターフェース			
内蔵スピーカー	5 W x 2		
マルチ画面	PIP モード、PBP モード		
OSD 言語	英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語		
その他	VESA マウント (200 × 200mm)、Kensington ロック		
プラグアンドプレイ互換性	DDC/CI、sRGB、Windows 10/8.1/8/7、Mac OSX		
スタンド			
チルト	-5 / +23度		
スイベル	-45 / +45度		
高さ調節	100mm		
電源			
消費エネルギー	AC 入力電圧 100VAC、60Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常取り扱い	76.8 W (標準)	76.3 W (標準)	75.8 W (標準)
スリープ(ネットワークスタンバイモード)	0.3 W	0.3 W	0.3 W
オフモード	0.3 W	0.3 W	0.3 W
熱放散 *	AC 入力電圧 100VAC、60Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常取り扱い	262.12 BTU/時 (標準)	260.41 BTU/時 (標準)	258.70 BTU/時 (標準)
スリープ(ネットワークスタンバイモード)	1.02 BTU/時	1.02 BTU/時	1.02 BTU/時
オフモード	1.02 BTU/時	1.02 BTU/時	1.02 BTU/時
オン(ECO モード)	43.9 W (typ.)		
電源 LED インジケータ オン	オン:白、スタンバイ / スリープモード:白(点滅)		
電源	内蔵、100-240VAC、50-60Hz		
寸法			
製品(スタンド付き) (幅x高さx奥行き)	978 x 713 x 281 mm		
製品(スタンドなし) (幅x高さx奥行き)	978 x 573 x 78 mm		
梱包サイズ(スタンド付き) (幅x高さx奥行き)	1150 x 704 x 284 mm		
重量			
製品(スタンド付き)	18.0 kg		
製品(スタンドなし)	12.4 kg		
製品(梱包付き)	23.3 kg		

7. 技術仕様

環境条件	
温度(操作時)	0°C ~ 40°C
湿度(操作時)	20% ~ 80%
気圧:(動作時)	700 ~ 1060hPa
温度範囲(非操作時)	-20°C ~ 60°C
湿度(非操作時)	10% ~ 90%
気圧:(非操作時)	500 ~ 1060hPa
環境	
ROHS	あり
梱包	100%リサイクル可能
特定物質	100% PVC BFRを含まない筐体
キャビネット	
色	ブラック
仕上げ	テクスチャ

注

このデータは事前の通知なしに変更することがあります。パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。

7.1 解像度とプリセットモード

1 最大解像度

HDMI 1.4: 3840x2160@30Hz
 HDMI 2.0: 3840x2160@60Hz
 DisplayPort: 3840x2160@60Hz
 USB-C1: 3840x2160@60Hz

2 推奨解像度

HDMI 1.4: 3840x2160@30Hz
 HDMI 2.0: 3840x2160@60Hz
 DisplayPort: 3840x2160@60Hz
 USB-C1: 3840x2160@60Hz

水平周波数 (kHz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
31.47	720x400	70.09
31.47	640x480	59.94
35.00	640x480	66.67
37.86	640x480	72.81
37.50	640x480	75.00
35.16	800x600	56.25
37.88	800x600	60.32
48.08	800x600	72.19
46.88	800x600	75.00
47.73	832x624	74.55
48.36	1024x768	60.00
56.48	1024x768	70.07
60.02	1024x768	75.03
44.77	1280x720	59.86
60.00	1280x960	60.00
63.89	1280x1024	60.02
79.98	1280x1024	75.03
55.94	1440x900	59.89
67.50	1920x1080	60.00
133.29	1920x2160 PBP mode (2 Win)	59.99
88.78	2560x1440	59.95
65.67	3840x2160	29.98

水平周波数 (kHz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
133.31	3840x2160	60.00 (HDMI2.0, DP, USB-C1)

3 Video Timing

解像度	垂直周波数 (Hz)
640x480P	59.94/60Hz 4:3
720x576P	50Hz 16:9
720x480P	59.94/60Hz 16:9
1280x720P	50Hz 16:9
1280x720P	59.94/60Hz 16:9
1920x1080P	59.94/60Hz 16:9
3840x2160P	60Hz 16:9
3840x2160P	50Hz 16:9
3840x2160P	30Hz 16:9
3840x2160P	25Hz 16:9
3840x2160P	24Hz 16:9

④ 注

ディスプレイは 3840 × 2160 の解像度で最高の画像を表示します。最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。

8. 電源管理

PCにVESA DPM 準拠のディスプレイカードを取り付けているか、またはソフトウェアをインストールしている場合、モニタは使用していないときにその消費電力を自動的に抑えることができます。キーボード、マウスまたはその他の入力デバイスからの入力が検出されると、モニタは自動的に「呼び起こされます」。次の表には、この自動省電力機能の電力消費と信号が示されています。

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平 同期	垂直 同期	使用電力	LED 色
アクティブ	オン	あり	あり	76.3 W(標準) 266.8 W(最大)	白
スリープ (ネットワークスタンバイモード)	オフ	なし	なし	0.3 W(標準)	白(点滅)
オフモード	オフ	-	-	0.3 W(標準)	オフ

次のセットアップは、このモニタの消費電力を測定するために使用されます。

- ・ ネーティブ解像度：3840 x 2160
- ・ コントラスト：50%
- ・ 輝度：50%
- ・ 色温度：6500k(完全な白パターンの場合)

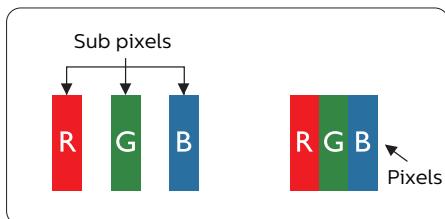
注

このデータは事前の通知なしに変更することがあります。

9. カスタマサポートと保証

9.1 Philipsのフラットパネルモニタ 画素欠陥ポリシー

Philipsは最高品質の製品を提供するためには常に努力しています。当社は、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもつとも厳しい品質管理を使用しています。しかしながら、フラットパネルモニタで使用されるTFTモニタパネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philipsでは保証期間中であれば、欠陥があるモニタを修理または交換することを保証します。この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、それぞれの種類について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証期間中の修理または交換の資格を取得するには、TFTモニタパネルの画素欠陥数がこれらの受け入れられるレベルを超えている必要があります。例えば、モニタのサブ画素の0.0004%を超えただけで欠陥となります。さらに、Philipsは特定の種類または組み合わせの画素欠陥については、他社より顕著に高い品質基準を設けています。このポリシーは全世界で有効です。



画素とサブ画素

画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の3つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3つの色の付いたサブ画素が1つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3つの色の付いたサブ画素は1つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ

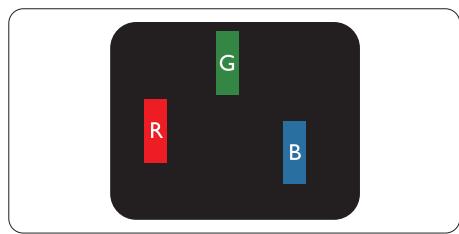
画素のその他の組み合わせは、他の色の1つの画素として表示されます。

画素欠陥の種類

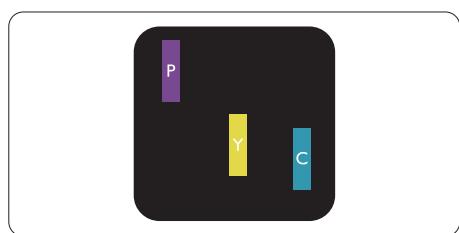
画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には2つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、明るいドットはモニタが暗いパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、明るいドット欠陥の種類を紹介します。

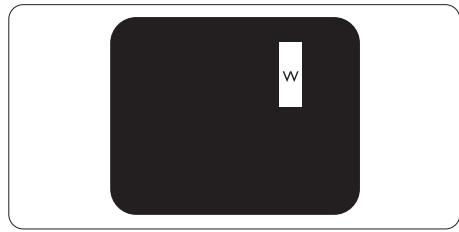


1つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。



2つの隣接する点灯サブ画素：

- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄
- 緑 + 青 = 青緑（ライトブルー）



3つの隣接する点灯サブ画素(1つの白い画素)。

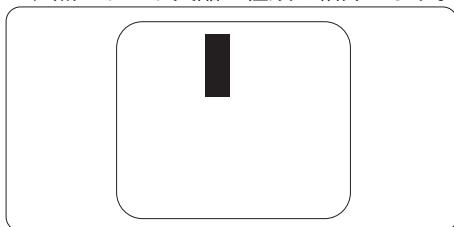
9. カスタマサポートと保証

注

緑の明るいドットが近接したドットより30パーセント以上明るい場合、赤または青の明るいドットは近接するドットより50パーセント以上明るくなっている必要があります。

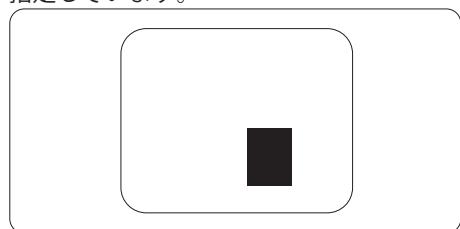
黒いドット欠陥

黒いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、暗いドットはモニタが明るいパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、黒いドット欠陥の種類を紹介します。



画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philipsでは画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。



9. カスタマサポートと保証

画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips フラットパネルモニタの TFT モニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
2つの隣接する点灯サブ画素	1
3つの隣接する点灯サブ画素 (1つの白い画素)	0
2つの明るいドット欠陥の間の距離 *	>15mm
すべての種類の明るいドット欠陥の総数	2

黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	5つ以下
2つの隣接する暗いサブ画素	2つ以下
3つの隣接する暗いサブ画素	1
2つの黒いドット欠陥の間の距離 *	>15mm
すべての種類の黒いドット欠陥の総数	5つ以下

ドット欠陥の総数	受け入れられるレベル
すべての種類の明るいまたは黒いドット欠陥の総数	10つ以下

注

1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥。

9.2 カスタマサポートと保証

お客様の地域で有効な保証範囲の情報と追加サポート要件の詳細については、www.philips.com/support Web サイトにアクセスしてください。以下に一覧した最寄りの Philips カスタマケアセンターの番号にお問い合わせになることもできます。

注

フィリップスのウェブサイトのサポートページに掲載されている地域サービスホットラインの重要な情報マニュアルを参照してください。

10. トラブルシューティング & FAQ

10.1 トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

1 よくある問題

写真が表示されない（電源LEDが点灯しない）

- 電源コードがコンセントとモニタ背面に差し込まれていることを確認してください。
- 最初に、ディスプレイの背面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認し、次にオン位置に押します。

写真が表示されない（電源LEDが白くなっている）

- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。
- モニタケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります

画面に次のようなメッセージが表示される

Check cable connection

- モニタケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。（また、クイックスタートガイドも参照してください）。
- モニタケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。

AUTO（自動）ボタンが機能しない

- 自動機能はVGA-Analog（VGAアナログ）モードでのみ適用可能です。結果が満足のゆくものでない場合、OSDメニューを通して手動調整を行うことができます。

■ 注

Auto（自動）機能は、DVI-Digital（DVI デジタル）信号モードでは必要ないため適用されません。

煙やスパークの明らかな兆候がある

- いかなるトラブルシューティング手順も行わないでください
- 安全のため、直ちに主電源からモニタの接続を切ってください
- 直ちに、Philips カスタマサポートに連絡してください。

2 画像の問題

画像が中央に表示されない

- OSD メインコントロールで「Auto（自動）」機能を使用して、画像位置を調整してください。
- OSD メインコントロールで Setup（セットアップ）の Phase/Clock（フェーズ/クロック）を使用して、画像位置を調整してください。これは、VGA モードでしか有効になりません。

画像が画面で揺れる

- 信号ケーブルがグラフィックスボードや PC にしっかりと、適切に接続されていることを確認してください。

垂直フリッカが表示される



- OSD メインコントロールで「Auto（自動）」機能を使用して、画像を調整してください。
- OSD メインコントロールで Setup（セットアップ）の Phase/Clock（フェーズ/クロック）を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGA モードでしか有効なりません。

水平フリッカーが表示される



- OSD メインコントロールで「Auto（自動）」機能を使用して、画像を調整してください。
- OSD メインコントロールで Setup（セットアップ）の Phase/Clock（フェーズ/クロック）を使用して、垂直バーを除去してください。

10. トラブルシューティング & FAQ

てください。これは、VGA モードでしか有效になりません。

画像がぼやけたり、不明瞭に、または暗く見える

- ・ オンスクリーンディスプレイでコントラストと輝度を調整してください。

電源がオフになった後でも、「後イメージ」、「焼き付き」または「ゴースト像」が残る。

- ・ 長時間静止画像を連続して表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」は LCD パネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。
- ・ モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
- ・ LCD モニタが変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。
- ・ スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」「後イメージ」「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。上で触れた損傷は保証には含まれません。

画像が歪んで表示される。テキストが不鮮明である、またはぼやけて見える。

- ・ PC のディスプレイ解像度をモニタの推奨される画面のネーティブ解像度と同じモードに設定してください。

緑、赤、青、暗い、白いドットが画面に表示される

- ・ ドットが消えずに残るのは今日の技術で使用される液晶の通常の特性です。詳細については、画素ポリシーを参照してください。

*「電源オン」ライトが強すぎて、邪魔になる

- ・ OSD のメインコントロールの電源 LED セットアップを使用して、「電源オン」ライトを調整できます。

更なる支援については、重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照して、Philips カスタマーサービス担当者に連絡してください。

* 機能は、ディスプレイにより異なります。

10.2 一般FAQ

Q1: モニタを取り付けるとき、画面に「Cannot display this video mode (このビデオモードを表示できません)」というメッセージが表示された場合、どうすればいいのですか？

A: このモニタの推奨される解像度：3840 x 2160@60Hz.

- ・ すべてのケーブルを抜き、PC を以前使っていたモニタに接続します。
- ・ Windows のスタートメニューで、設定 / コントロールパネルを選択します。コントロールパネルウインドウで、画面アイコンを選択します。画面のコントロールパネル内部で、「設定」タブを選択します。設定タブの下の、「デスクトップ領域」とラベルされたボックスで、スライダを 3840 x 2160 画素に動かします。
- ・ 「詳細プロパティ」を開き、リフレッシュレートを 60Hz に設定し、OK をクリックします。
- ・ コンピュータを再起動し、2 と 3 の手順を繰り返して PC が 3840 x 2160@60Hz に設定されていることを確認します。
- ・ コンピュータを停止し、古いモニタを取り外し、Philips LCD モニタを再接続します。
- ・ モニタの電源をオンにしてから、PC の電源をオンにします。

Q2: LCD モニタの推奨されるリフレッシュレートは何ですか？

A: LCD モニタの推奨されるリフレッシュレートは 60Hz です。画面が乱れた場合、75Hz まで設定して乱れが消えることを確認できます。

Q3: .inf ファイルおよび .icm ファイルとは何ですか？ドライバー (.inf および .icm) インストールする方法は？

A: これらは、ご利用のモニター用のドライバーファイルです。ご利用のコンピューターは、モニターを初めて設置するとき、モニタードライバー (.inf および .icm ファイル) のインストールを求める場合があります。ユーチャーマニュアルの手順に従い、モニタードライバー (.inf および .icm ファイル) を自動的にインストールしてください。

10. トラブルシューティング & FAQ

- Q4: 解像度はどのように調整すればいいのですか?
- A: ビデオカード / グラフィックドライバとモニタは使用可能な解像度と一緒に決定します。Windows®コントロールパネルの下の「画面のプロパティ」で希望の解像度を選択できます。
- Q5: OSDを通してモニタを調整しているときに忘れた場合、どうなりますか?
- A: ➡ボタンを押してから、「Reset (リセット)」を押すと、工場出荷時の設定になります。
- Q6: LCD画面はきつかき傷への耐性がありますか?
- A: 一般に、パネル面に過度の衝撃を与える、鋭いまたは先の尖った物体から保護するようにお勧めします。モニタを取り扱っているとき、パネルの表面に圧力や力がかかるていないことを確認してください。保証条件に影響が及ぶ可能性があります。
- Q7: LCD表面はどのようにして洗浄すればいいのですか?
- A: 通常洗浄の場合、きれいで、柔らかい布を使用してください。洗浄する場合、イソプロピルアルコールを使用してください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの溶剤を使用しないでください。
- Q8: モニタの色設定を変更できますか?
- A: はい、次の手順のように、OSDコントロールを通して色設定を変更できます。
- 「➡」を押してOSD (オンスクリーンディスプレイ)メニューを表示します
 - 「下矢印」を押してオプション「Color (色)」を選択し、「➡」を押して色設定に入ります。以下のように、3つの設定があります。

1. Color Temperature (色 温 度) : 6500K範囲で設定されている場合、パネルには「温かい、赤-白色調で」と、また9300K温度範囲では、「冷たい青-白色調」というメッセージが表示されます。

2. sRGB : これは、標準設定で、異なるデバイス(例えば、デジタルカメラ、モニタ、プリンタ、スキャナなど)間で色が正しく変換されていることを確認します
3. User Define (ユーザー定義) : ユーザーは赤、緑、青色を調整することで、お気に入りの色設定を変更できます。

● 注

加熱されている間、物体によって放射された光の色の測定。この測定は、絶対温度目盛り(ケルビン度)によって表されます。2004Kなど低いケルビン温度は赤で、9300Kなどの高い温度は青です。6504Kでの中間温度は、白です。

- Q9: LCDモニタをPC、ワークステーション、Macに接続できますか?
- A: はい、できます。すべてのPhilips LCDモニタは、標準のPC、Mac、ワークステーションに完全に対応しています。Macシステムにモニタを接続するには、ケーブルアダプタが必要です。詳細については、Philips販売店にお尋ねください。

- Q10: Philips LCDモニタはプラグアンドプレイ対応ですか?
- A: はい。モニタはWindows 10/8.1/8/7、Mac OSXでプラグアンドプレイに対応します

- Q11: LCDパネルの画像固定、または画像焼き付き、後イメージ、ゴースト像とは何ですか?
- A: 長時間静止画像を連続して表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。

10. ラブルシューティング & FAQ

LCD モニタが変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。

⚠ 警告

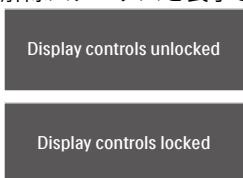
ひどい「焼き付き」または「後イメージ」または「ゴースト像」症状は消えずにのこり、修理することはできません。これらによる損傷は保証には含まれません。

Q12: 私のディスプレイがシャープなテキストを表示せず、ぎざぎざのある文字を表示するのはなぜですか？

A: LCD モニタは 3840 x 2160@60Hz のネーティブ解像度で最高の機能を発揮します。最高の表示結果を得るには、この解像度を使用してください。

Q13: ホットキーをロック / ロック解除する方法？

A: ホットキーをロック / ロック解除するには、➡ を 10 秒間押してください。そうすることで、下の図のように「注意」ポップアウトを監視し、ロック / ロック解除ステータスを表示されます。



Q14: EDFUについて記載された重要な情報マニュアルをどこで入手できますか？

A: 重要な情報マニュアルは、Philips ウェブサイトのサポートページからダウンロードできます。

Q15: Macbook ノートパソコンに接続していますが、モニターのスピーカーから音声が聞こえません。どうすれば良いですか？

A: 規以下のデバイスの音声を微調整する方法を参照してください。
• フロントベゼルの ➡ ボタンを押して、OSD メニュー画面を表示させます。

- またはボタンを押して、[Audio(音声)]を選択します。
- またはボタンを押して、[Audio Recover(音声の回復)]を選択します。これで問題が解決されます。

10.3 Multiview FAQ

Q1: ビデオから独立して、オーディオを聞くにはどうすればいいのですか？

回答: 通常、オーディオソースはメインのピクチャソースにリンクされています。オーディオソースの入力を変更したい場合、➡ を押して OSD メニューに入ることができます。[Audio](オーディオ) メインメニューからお気に入りの [Audio Source](オーディオソース) オプションを選択してください。

ディスプレイを次にオンにするとき、ディスプレイはデフォルトで最後に選択されたオーディオソースを選択します。これを再び変更したい場合、上のステップを行ってお気に入りのオーディオソースを新しく選択して「デフォルト」モードにする必要があります。

Q2: PBP を有効にすると、サブウィンドウがちらつくのはなぜですか？

回答: サブウィンドウのビデオソースが i-timing(interlace timing/ インターレースタイミング) になっているためです。サブウィンドウの信号ソースを P-timing(progressive timing/ プログレシブタイミング) に変更してください。



2020©TOP Victory Investments Ltd. 無断複写・転載を禁じます。

この製品は、Top Victory Investments Ltd.によって製造され、その責任下で販売されており、Top Victory Investments Ltd.は、この製品に関する保証人です。PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン: M10439PE1T